



美山小学校だより

Web サイトからも
ご覧になれます。



令和 5年 5月 10日

安心できる場所

5月2日(火)にあった、なかよし歓迎遠足の一コマ。

昼食を終え、広い長谷運動公園グラウンドで各異年齢グループが思いっきり遊んでいました。ドッジボールをしていたあるグループの1年生が線を越えてボールを取りました。自分でもそのことに気づいたのか、どうしよう?と戸惑っていると、そのグループの6年生が「いいよ。そのまま投げたら。」と声をかけました。1年生は嬉しそうにゲームを続けました。

みんなが楽しくゲームをするためにはルールは大切ですし、みんなが守らなければゲームは成立しません。でも、今日は歓迎遠足。声をかけた6年生は、きっと「1年生に楽しんでもらおう」と、そんな思いでの行動であったかと思います。心が温かくなった瞬間でした。



さて、美山小学校では、4月から全教職員で『どんな学校を創っていこう?』と、対話を重ねてきています。その一つに、『学校を安心できる場所』にするには?というテーマで話し合っています。『(相手の)話をさえぎらずに聞くこと』『自分の気持ちに余裕を持つこと』『笑顔で過ごすこと』『相手の目を見て話を聞くこと』『「大丈夫!」と声をかけること』『相手に求めすぎずに、みんな楽しく過ごせるようにすること』『否定をしないこと』『「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えること』…etc. たくさんの意見が交わされています。これらの意見は、我々教職員が子どもに対してのことだけではありません。教職員同士もそうですし、教職員の家族間でも同じ事です。

なぜこんな話をしているかと言いますと、人は『安心できる場所』で過ごすことで、はじめて前向きになれるのではないかと、自分を高めていこうという気持ちになれるのではないかと考えたからです。もちろん、人によっては適度なストレスや逆境の中でこそ、力を伸ばせるという人もいます。でも、それも自分に自信があるなど、『安心』できる根っこになるものがあってこそ、ではないかと考えています。

子どもたちが『自ら育つ場』に。教職員自身も『育つ場』に。そう考えて、我々は『安心できる場所』を創っていきたいと思います。

校長 榊 貢 (さかき こう)

◆◆なかよし歓迎遠足に行きました◆◆



5月2日(火)に長谷運動公園に「なかよし歓迎遠足」に出かけました。4月に入学してきた新入生や新しい友達を歓迎し、ともに喜び合うことや集団活動の中で仲間と協力してよりよい学校生活を築いていくことをねらいとして、なかよし班(異年齢班)で活動する計画を立てました。6年生のリーダーを中心に、なかよし班の顔合わせを行い、当日は、小学校のグラウンドで1年生の自己紹介をした後に、班ごとに学校から運動公園まで、いくつかのポイントでアナグラム(バラバラの文字を並べ替えて文を作る)やパズルなどを解いたり、6年生が考えた学校クイズに挑戦したりしながら、ウォークラリーを行いました。

穏やかな晴れ空のもと、さわやかな風にたなびく鯉のぼりを見ながら楽しく会話を弾ませ歩く子供たちは、高揚感にあふれた表情をしていました。

田植え時期でもあり、田んぼでお仕事をされている地域の方ともあいさつを交わしながらたどり着いた長谷運動公園で、なかよし班ごとにお弁当を食べました。昼食のあとは、たっぷり1時間以上、班ごとに計画していた遊びを思いっきり堪能し、また学校まで歩いて帰りました。

遠足の実施にあたり、お世話になった地域の皆様どうもありがとうございました。

